

「鳥取市地域福祉計画」策定のための
地域福祉に関する意識調査
(その他意見・自由記述)

報告書

令和6年1月

鳥取市

その他意見・自由記述

本報告書では、次のとおり表記しています。

◆ 地区について

鳥取地区：「①鳥取」

鳥取東地区：「②鳥取東」

鳥取南地区：「③鳥取南」

鳥取西地区：「④鳥取西」

● その他意見

問3 あなたの現在の職業をお答えください。

バイト。	①鳥取	18～29歳	男性
就労継続支援B型を利用中。	①鳥取	18～29歳	女性
パート。	①鳥取	40歳台	女性
パート。	①鳥取	50歳台	女性
介護休職中。	①鳥取	50歳台	女性
アルバイト。	①鳥取	60歳台	男性
パート。	①鳥取	60歳台	男性
アルバイト。	①鳥取	60歳台	女性
パート。	①鳥取	60歳台	女性
パート。	①鳥取	60歳台	女性
パート。	①鳥取	60歳台	女性
パート。	①鳥取	60歳台	女性
作業所勤務。	①鳥取	70～74歳	男性
農業、年金受給。	①鳥取	70～74歳	男性
農業。	①鳥取	70～74歳	女性
アルバイト。	①鳥取	70～74歳	女性
パート。	①鳥取	70～74歳	女性
農業。	①鳥取	70～74歳	女性

パート。	①鳥取	70～74歳	女性
農業。	①鳥取	75歳以上	男性
自営業手伝い。	①鳥取	75歳以上	女性
農業。	①鳥取	75歳以上	女性
内職。	①鳥取	75歳以上	女性
パート。	①鳥取	75歳以上	女性
パート。	②鳥取東	60歳台	男性
農業。	②鳥取東	60歳台	男性
農業。	②鳥取東	75歳以上	男性
農業。	③鳥取南	70～74歳	男性
農業。	③鳥取南	75歳以上	男性
農業。	③鳥取南	75歳以上	女性
パート。	④鳥取西	50歳台	女性
新聞配達。	④鳥取西	60歳台	男性
家業手伝い。	④鳥取西	60歳台	女性
フリーランス。	-	70～74歳	男性

問7 あなたの世帯の構成をお答えください。

友人と同居。	①鳥取	18～29歳	男性
姉妹。	①鳥取	30歳台	女性
兄弟。	①鳥取	40歳台	女性
夫婦と姉。	①鳥取	50歳台	男性
姉妹で居住。	①鳥取	60歳台	女性
姉妹。	①鳥取	70～74歳	女性
両親はグループホームに入居中。	①鳥取	-	男性
夫婦、夫の姉。	③鳥取南	50歳台	女性
兄弟で同居。	④鳥取西	60歳台	男性
施設生活。	④鳥取西	60歳台	女性
夫婦と孫。	④鳥取西	70～74歳	女性
夫婦と弟。	④鳥取西	75歳以上	男性

問 10 あなたは、地域の行事や町内活動などに参加していますか。

親子教室。	①鳥取	18～29歳	男性
清掃活動。	①鳥取	40歳台	女性
清掃。	①鳥取	40歳台	女性
廃品回収。	①鳥取	50歳台	男性
市の文化講座。	①鳥取	50歳台	女性
草刈り。	①鳥取	70～74歳	男性
町内の催し。	①鳥取	70～74歳	女性
趣味の同好会。	①鳥取	70～74歳	女性
政治関係・墓守。	①鳥取	75歳以上	男性
役員として町内会行事に参加。	①鳥取	75歳以上	女性
ボランティア活動。	①鳥取	75歳以上	女性
研修会。	③鳥取南	70～74歳	男性
小学生の登校見守り。	④鳥取西	75歳以上	男性
町内会に参加していた。	-	70～74歳	男性

問 10-1 参加したことがない理由は何ですか。

学校が忙しく時間がない。	①鳥取	18～29歳	女性
参加したくない。	①鳥取	30歳台	男性
趣味で忙しいので時間がない。	①鳥取	30歳台	男性
家族が参加している。	①鳥取	30歳台	男性
休日は身体を休ませたい。	①鳥取	30歳台	女性
誘われない。	①鳥取	40歳台	男性
家族が参加している。	①鳥取	50歳台	男性
マンションのため。	①鳥取	50歳台	男性
親が参加している。	①鳥取	50歳台	女性
病気療養中のため。	①鳥取	50歳台	女性
町内会がない。	①鳥取	50歳台	女性

忙しい。	①鳥取	60歳台	男性
マンションなので活動の場がない。	①鳥取	60歳台	男性
町内会に入っていない。	①鳥取	60歳台	女性
持病で入院しているから。	①鳥取	70～74歳	男性
身体が不自由なため。	①鳥取	70～74歳	男性
介護施設に入所している。	①鳥取	75歳以上	男性
アパート住まいだから。	①鳥取	75歳以上	男性
湖山町には町内会がない。	①鳥取	75歳以上	女性
認知症で入院している。	①鳥取	75歳以上	女性
介護を受けている。	①鳥取	75歳以上	女性
時間がない。	①鳥取	75歳以上	女性
アパートのため自治会はない。	②鳥取東	60歳台	女性
面倒だから。	②鳥取東	70～74歳	女性
高齢だから。	③鳥取南	70～74歳	女性
施設に入っているから。	④鳥取西	60歳台	女性
アパートなので参加していない。	-	50歳台	女性

問 13-1 あなたは、どのようなボランティア活動にかかわっています（いました）か。

外国人に日本語を教える活動。	①鳥取	30歳台	男性
献血。	①鳥取	30歳台	男性
留学生に日本語を教える。	①鳥取	60歳台	女性
音楽演奏会。	①鳥取	70～74歳	男性
認知症キャラバンメイトとして活動している。	①鳥取	70～74歳	女性
ボランティアで洗濯物の片付け、清掃。	①鳥取	70～74歳	女性
となり組福祉員。	①鳥取	70～74歳	女性
小学校活動。	①鳥取	75歳以上	男性
民生。	①鳥取	75歳以上	男性
更生保護女性会で活動していた。	①鳥取	75歳以上	女性
宗教活動。	②鳥取東	70～74歳	女性

問 15 あなたご自身のことについて不安に思っていることや悩んでいることはありますか。

勉学のこと。	①鳥取	18～29歳	男性
結婚・出産。	①鳥取	18～29歳	女性
年金。	①鳥取	18～29歳	女性
災害時のこと。	①鳥取	40歳台	女性
別居の父親の介護について。	①鳥取	40歳台	女性
健康。	①鳥取	50歳台	男性
LGBTによる不利益・安全性。	①鳥取	60歳台	女性
岩倉小学校周辺道路が狭く危険なこと。県の都市計画道路の件で、永年住む場所を補償額で簡単に了解ができず困っている。	①鳥取	70～74歳	男性
子どもの生活。	①鳥取	70～74歳	女性
将来の自分や家族の健康への不安。	①鳥取	70～74歳	女性
アルバイトをやらないと返済や生活に困ること。	①鳥取	75歳以上	男性
市立病院行きのバスが少ないこと。	①鳥取	75歳以上	女性
ごみ収集してもらえない。	①鳥取	75歳以上	女性
高校生からお金がかかる時期に入る。子ども手当もなく困る。	②鳥取東	40歳台	男性
越してきたので交流がない。	③鳥取南	18～29歳	女性
結婚。	④鳥取西	30歳台	女性

問 19 あなたは、福祉についてどのような情報を知りたいとお考えですか。

子どもがいない世帯の老後に関する情報。	①鳥取	50歳台	男性
経済的支援。	①鳥取	60歳台	男性
基本的な制度。	①鳥取	60歳台	男性

問 20 あなたは、地震や風水害、火災などの災害に対して、どのような備えを行っていますか。

防災トリピー。	①鳥取	30 歳台	男性
S N S。	①鳥取	40 歳台	男性
発電機、バッテリー準備。	①鳥取	50 歳台	男性
他都市の防災アプリの利用。	①鳥取	70～74 歳	男性
市の防災無線が聞き取りにくい。	①鳥取	75 歳以上	女性

問 21 あなたは、ご自身が災害にあわれたとき、主にだれ（どこ）を頼りにしますか。

大学。	①鳥取	18～29 歳	男性
S N S。	①鳥取	18～29 歳	男性
自力で避難する。	①鳥取	70～74 歳	男性
施設。	④鳥取西	60 歳台	女性

問 23 あなたは、避難支援者になることについて、どのように思いますか。

自分の家族を避難させて余裕があれば支援してもよい。	①鳥取	30 歳台	男性
家族が要配慮者ばかりで自分ひとりでは足りない。	①鳥取	40 歳台	女性
小さい子どもがいるので、他人を支援している余裕はない。	①鳥取	40 歳台	女性
身内・知り合いが優先だが、目の前にあれば助けたい気持ちはある。	①鳥取	40 歳台	女性
近所・目の前に要支援者があれば、支援する。	①鳥取	50 歳台	男性
退職してからなら支援者になってもよい。	①鳥取	50 歳台	男性
避難活動をする仕事のため、災害時は帰宅できない。	①鳥取	50 歳台	女性
家族が要配慮者。	①鳥取	50 歳台	女性
町内会・地区自治連の主要役員なので、有事に個別の支援者として活動することが不可能である。	①鳥取	60 歳台	男性
高齢でできない。	①鳥取	70～74 歳	男性
体力が伴わない。	①鳥取	70～74 歳	女性
家族が要支援。	①鳥取	75 歳以上	女性

体力に自信がない。	①鳥取	75歳以上	女性
主人が要配慮者。	①鳥取	75歳以上	女性
高齢なので体力が許す範囲で、遭遇すれば支援する。	①鳥取	75歳以上	女性
職務上、仕事を優先すると思われるため、地域より仕事での活動となる。	②鳥取東	50歳台	女性
災害の規模、避難行動要支援者の人数にもよる。	③鳥取南	18～29歳	男性
家族に要配慮者がいる。	③鳥取南	50歳台	女性
障害があるため、できない。	④鳥取西	60歳台	女性
余裕がない。	-	30歳台	女性
高齢だからできない。	-	75歳以上	女性

問 24 災害時における助け合いを行う上で、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。

自分自身を守るための備え。	①鳥取	30歳台	女性
所在の明確化。	①鳥取	50歳台	男性
自然体でいること。	①鳥取	60歳台	男性
市民への意識づけ。	①鳥取	60歳台	男性
少子化・過疎化の解決。	②鳥取東	50歳台	男性

問 25 お住まいの地域では、どのようなことが課題になっていると感じていますか。

高齢者の参加が多く、若者へ引き継いでいない。	①鳥取	18～29歳	女性
道が狭い。	①鳥取	18～29歳	女性
騒音。	①鳥取	30歳台	男性
治安の悪化。	①鳥取	40歳台	女性
除雪対応がない。	①鳥取	40歳台	女性
アパートなので近所の方を全く知らない。	①鳥取	50歳台	女性
地域内の様子が良く分からない。	①鳥取	70～74歳	男性
結婚していないこと。	①鳥取	75歳以上	男性
自治会の退会者が増えている。	①鳥取	75歳以上	女性

問 26 あなたは、地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするためには、どのようなことが必要とお考えですか。

幅広い年代に参加してもらえる活動。	①鳥取	18～29歳	女性
地域課題を明確にし、課題を共有していくこと。	①鳥取	30歳台	男性
地域の資金、資本が潤沢であること。	①鳥取	30歳台	女性
必要ない。	①鳥取	40歳台	男性
お互い様精神。	①鳥取	40歳台	女性
具体的な活動方法の明示。トラブル時の行政の積極的関わり。	①鳥取	50歳台	男性
活動参加者への謝礼。	①鳥取	50歳台	女性
助け合いや支え合いが必要なことは皆が認識している。一人ひとりの役割分担を行政や関係者が提示することが必要。	①鳥取	50歳台	女性
活動ニーズの分析を行政で調査し、公開することが必要。	①鳥取	60歳台	男性
ボランティアの負担が大きいのので、負担を減らすこと。	①鳥取	70～74歳	男性
行政職員の積極的地域活動の参加。	①鳥取	75歳以上	男性
地域清掃などの強制的な行為はしないこと。	①鳥取	75歳以上	男性
各自がそのときすべきと思うことを一生懸命すること。	①鳥取	75歳以上	女性
SNSを使わせない。大人にスマホを持たせない。	③鳥取南	18～29歳	男性
必要性がないと興味を持たない。情報共有も大切なのでは。	④鳥取西	40歳台	男性
ネットワークをつくり出す。	④鳥取西	60歳台	女性

問 28 私たち一人ひとりが安心して地域の中で生活していくために、住民のひとりとしてあなたにできることはどんなことがあるとお考えですか。

顔見知りを広げる。	①鳥取	50歳台	男性
必要な最低限の協力をする。	①鳥取	50歳台	女性
情報選択肢を福祉サービスや行政からタイムリーに認識し、活動ができない場合は代わりに支援する人材を育成すべきだ。	①鳥取	50歳台	女性
関心は持ちたいが、その情報が得られない。	①鳥取	50歳台	女性
価値の高い居住地区にすること。	①鳥取	60歳台	男性
町内会事業への参加。	①鳥取	70～74歳	女性
高齢で何もできない。	②鳥取東	75歳以上	女性

若者はSNSばかりやっているの、地域の交流どころではない。よって、特にできることはない。	③鳥取南	18～29歳	男性
そのときが来たら行動する。	③鳥取南	40歳台	男性

問 29 あなたが住み続けたいと思う地域はどのような地域ですか。

低所得でも住みやすい税制。	①鳥取	30歳台	男性
高齢になっても不便なく暮らせる場所のある地域。	①鳥取	50歳台	女性
良質のモノ・サービス、居住空間。	①鳥取	60歳台	男性
近隣住民との適切な距離感。	④鳥取西	30歳台	女性
区長・委員などがいないところ。	④鳥取西	40歳台	男性
文化的な地域。	④鳥取西	40歳台	男性

問 37 「孤独・孤立問題」への対策で必要と思われるものは何ですか。

当事者が支援にアクセスできるような情報の発信。	①鳥取	18～29歳	男性
他地域のモデルを参考に、取り入れていくこと。	①鳥取	18～29歳	女性
当事者が参加しないと意味がない。	①鳥取	40歳台	男性
SOSを出しやすくすること。	①鳥取	40歳台	女性
小中学校での心の教育。自分・他人の心と付き合い方やそこに繋がる力の育成。	①鳥取	40歳台	女性
相談窓口やお知らせで、いつかその人の目にとまるものが必要。	①鳥取	40歳台	女性
ひきこもり対策。	①鳥取	50歳台	男性
情報発信。	①鳥取	50歳台	女性
人材の確保・育成。人が集まるだけでなく、核となる人を置き具体的な繋がりや声掛けが必要。	①鳥取	50歳台	女性
声掛け。	①鳥取	60歳台	女性
行政システムの中で問題の抽出が可能なシステムをつくる。	①鳥取	70～74歳	男性
自身がしっかりとした考えを持ち、趣味等を頑張ればよい。	①鳥取	70～74歳	女性
互助の心が必要。	①鳥取	75歳以上	男性
気軽に集まれる居場所が必要。	①鳥取	75歳以上	男性
本当の気持ちが出せる人が必要。	①鳥取	75歳以上	女性

人との対話・声掛け。	①鳥取	75歳以上	女性
ある程度自分で解決すべき。	①鳥取	75歳以上	女性
孤立した人が自分から声をあげられるような行政が必要。	②鳥取東	40歳台	男性
行政が住民から聞き取りし、把握しておくことが必要。	③鳥取南	40歳台	男性
本人の希望を聞く場所。	④鳥取西	40歳台	男性
一人ではないという心の育成、思いやりの心を育む。	④鳥取西	40歳台	女性

問 38-1 どのような協力をしたいと思いますか。

雇用の斡旋。	①鳥取	18～29歳	男性
犯罪経験者の就労場所の確保。	①鳥取	18～29歳	男性
知り合い・近所に自然な信頼関係をつくる。	①鳥取	50歳台	女性
仕事での活動の中で可能な範囲で手伝う。	②鳥取東	60歳台	女性

問 38-2 協力したいと思わない理由をお教えてください。

他人どころではない。	①鳥取	30歳台	男性
人ではなく、要因の解消をすべき。	①鳥取	30歳台	男性
犯罪の内容にもよるが、暴力・性犯罪だと自分にはできない。	①鳥取	30歳台	女性
罪の重さによって変わってくる。	①鳥取	40歳台	男性
家族・仕事・友人のために自分の時間を使いたいから。また、心理的負担が自分には大きい。	①鳥取	40歳台	女性
軽度知的障害・精神障害がある場合、その治療を優先すべきだと思うから。	①鳥取	50歳台	男性
負担に感じる。	①鳥取	50歳台	男性
自分の接し方が相手に失礼になる可能性があるから。	①鳥取	50歳台	女性
支援協力する側に資格が必要ではないか。適した人材でなければならぬから。	①鳥取	50歳台	女性
依存されそうな気がする。	①鳥取	50歳台	女性
自分からは協力したくないが、相談があれば話にのる。	①鳥取	60歳台	男性
犯罪の内容によって協力したい。	①鳥取	60歳台	男性
被害者の支援が先である。	①鳥取	60歳台	女性

年齢的に体力がないから。	①鳥取	60歳台	女性
対応できるだけの専門性を持っていないから。	①鳥取	60歳台	女性
犯罪内容について考え方は変わり、協力する場合の個人情報の扱いに不安があるから。	①鳥取	70～74歳	男性
年齢的にできないから。	①鳥取	75歳以上	男性
全ての犯罪をひとくりにされても困る。	①鳥取	75歳以上	男性
犯罪した人に協力したいと思わない。	②鳥取東	40歳台	男性
本当に反省しているのか信用できない。支援し裏切られたときのダメージははかり知れない。	②鳥取東	50歳台	女性
自分自身が支援を必要としている身体だから。	②鳥取東	75歳以上	女性
素行の良い人であれば協力したい。	③鳥取南	18～29歳	女性
年齢的にエネルギーがない。	③鳥取南	70～74歳	女性
犯罪の種類によるから。	③鳥取南	75歳以上	男性
専門性が要求されるため。	④鳥取西	30歳台	男性
時間がない。	④鳥取西	40歳台	男性
持病があるから。	④鳥取西	70～74歳	女性
高齢だから。	④鳥取西	75歳以上	女性

問 40 あなたは、再犯防止に関して住民の理解や関心を深めるために、市は何をするべきだと思いますか。

当事者の努力を促す。	①鳥取	18～29歳	男性
就職先を紹介する。事業者と犯罪者を繋げる。	①鳥取	18～29歳	女性
民間協力者に手当を支給する。	①鳥取	30歳台	男性
誤情報を広めている人への罰則の作成。	①鳥取	30歳台	女性
犯罪者を生まない社会づくり。	①鳥取	40歳台	女性
犯罪者の再教育と、社会復帰の支援。	①鳥取	40歳台	女性
犯罪をしようとしなない・犯罪をする必要のない生活保障ができていのか行政が見直すべき。	①鳥取	40歳台	女性
気軽に足を運べる場所。	①鳥取	40歳台	女性
再犯防止ではなく、犯罪防止。	①鳥取	50歳台	男性
犯罪をしないことに注力すべき。	①鳥取	50歳台	男性
何か協力できることがあれば協力したいが、犯罪者を知り得ないので	①鳥取	50歳台	女性

わからない。			
幅広い人に概要を理解してもらう必要がある。	①鳥取	50歳台	女性
リスキリング(職業教育)。	①鳥取	60歳台	男性
犯罪者の中には知的レベルに課題のある人もいる。この方たちの受け皿も必要。	①鳥取	70～74歳	女性
学校教育の場での倫理観の教育。	①鳥取	75歳以上	男性
本人がその気にならなければ、環境を整えても意味がない。	②鳥取東	50歳台	女性
貧困であれば、食事を与える。	③鳥取南	18～29歳	男性
地域の一員として対応する。	③鳥取南	70～74歳	男性
再犯防止に税金を投じる必要性を感じない。	④鳥取西	40歳台	男性
市役所での雇用。	④鳥取西	40歳台	男性
生活困窮しないような行政の体制づくり。	④鳥取西	70～74歳	女性

問 42 あなたは、「鳥取市社会福祉協議会」がどんな活動・事業を行う組織か知っていますか。

地域サロンの助成。	①鳥取	50歳台	女性
香典を寄付するところ。	①鳥取	50歳台	女性

問 43 あなたは、「鳥取市社会福祉協議会」の次の活動内容のうち、知っているものはどれですか。

ジュニアリーダー。	①鳥取	18～29歳	女性
手話講話会。	②鳥取東	75歳以上	女性

問 44 みんなで地域社会を支え合いながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちを実現するために、行政や社会福祉協議会に対して特にどのような施策や取組を行ってほしいですか。

減税。	①鳥取	30歳台	男性
アプリ等を使い、日頃から若者が地域の要支援者の把握ができる環境をつくる。	①鳥取	30歳台	男性
自治会は全員参加ですべて賄うことができる。	①鳥取	50歳台	男性

交通ルールの教育。	①鳥取	70～74歳	女性
認知症保険への加入補助金を。	①鳥取	75歳以上	男性
町内で気心知れた友達づくり。	①鳥取	75歳以上	女性
障害のある人も含めた生涯学習の場づくり。	②鳥取東	40歳台	男性
日々買い物のできる場所の確保。	②鳥取東	70～74歳	男性

● 自由記述

みんなが安心して暮らせる地域づくりやまちづくりのため、どのようなことが必要だと思いますか。

国の財政改革。県・市の人員不足。介護報酬・診療報酬も足りていない。	①鳥取	18～29歳	男性
子どもが全力で遊べる公園等の設置。	①鳥取	18～29歳	男性
地域の見回りが重要。	①鳥取	18～29歳	男性
障がい者・高齢者は1つの場所に集めるべき。	①鳥取	18～29歳	男性
あいさつは必要だ。	①鳥取	18～29歳	男性
特に困っている人への支援情報の積極的な発信。現在は困ることがなくても、支援があることを知ることが安心に繋がる。	①鳥取	18～29歳	男性
駅周辺の夜間の治安改善。	①鳥取	18～29歳	男性
少子高齢化・人口減少対策。高齢者の支援も必要だが、それ以上に若者への支援が必要だと思う。	①鳥取	18～29歳	男性
子どもも高齢者も生活しやすい場所を増やすべきだ。	①鳥取	18～29歳	女性
若い世代の人口を増やす必要がある。	①鳥取	18～29歳	女性
高齢者の移動手段が必要。容易に移動ができなければ、その地域に住み続けられない。	①鳥取	18～29歳	女性
将来の保障、経済支援。	①鳥取	18～29歳	女性
様々な世代の人の交流が自然と築かれる地域づくり。	①鳥取	18～29歳	女性
地域の特色を活かした事業や支援、地域住民への情報提供。	①鳥取	18～29歳	女性
人権意識の向上。	①鳥取	18～29歳	女性
大正地区に外灯を増やしてほしい。中学生の部活後の時間に見回り。高齢者に対しバスの回数券を配布・電動自転車の支給をし、免許返納を促す。高齢者の多い地域にコンビニを増設すれば、無理に運転しなくてもよくなる。	①鳥取	18～29歳	女性

ボランティア活動・地域活動に参加することに対して、免税や欠勤とならない策がないと厳しい。	①鳥取	18～29歳	女性
育休中は家族としか話をしない。友達がいないので外出もほとんどない。夫も仕事で遅かったので、ひだまりサロンに助けられた。もっと色々な人が気軽に交流できる場をつくるのが大切。	①鳥取	18～29歳	女性
医療施設の充実。	①鳥取	18～29歳	女性
何事も心の余裕が必要。だが、いまは物価の高騰で、皆精一杯の生活となっている。	①鳥取	18～29歳	女性
行政からの情報発信を活発にしてほしい。相談しやすい窓口の設置。助けが必要な人に支援の情報が行き届いていない。	①鳥取	18～29歳	女性
困っている人は助けを求めたりしない。近所の人やSOSに気づいた人が、行政の窓口につなぐことが大切だと思う。	①鳥取	18～29歳	女性
困ったときに援助・支援が受けられる、必要な支援が分かるような場づくり。そのための情報提供体制。	①鳥取	30歳台	男性
空き家の土地の造成。古い土地に若い世代を取り込まないと、助け合いも生まれにくい。	①鳥取	30歳台	男性
福祉に関わる人の待遇の改善。ボランティアや善意に頼ることも大切だが、それは待遇が悪いことの理由にはしてはならないと思う。	①鳥取	30歳台	男性
福祉が大変な活動だということが知れた。個人宅の事情は分からない。気づきがあっても慎まなければならない。福祉の方から相談に応じていただけるよう、広報活動を願う。	①鳥取	30歳台	男性
税金が高くなり、地域どころではない。	①鳥取	30歳台	男性
外灯の設置、防犯パトロールの実施、危険個所の周知。	①鳥取	30歳台	男性
幼稚園・保育園・小学校の行事を充実させ、親も参加でき交流できるような場をつくる。	①鳥取	30歳台	男性
河川が氾濫しないように整備してほしい。	①鳥取	30歳台	男性
町民が集まれるような機会をつくり、いきいきと暮らせるような取り組みが必要。	①鳥取	30歳台	男性
幼い頃からの助け合いの心を育む教育。単なる親切心に頼るだけでなく、経済的な仕組みづくりが必要。	①鳥取	30歳台	男性
一人ひとりの意識の向上と行政活動の周知が必要。	①鳥取	30歳台	男性
情報を知る機会がないのが問題だと思う。若者が興味を持てるようなきっかけが必要。	①鳥取	30歳台	男性
高齢者ばかりでなく、子育てに対する支援がさらに必要だと思う。子育て支援の拡充がなければ人口増加はなく、地域が消滅する。	①鳥取	30歳台	女性
地域住民のつながり・声掛けが必要。	①鳥取	30歳台	女性
運転免許返納後の交通手段に不安がある。交通機関・タクシーの利用を容易にしてほしい。	①鳥取	30歳台	女性
夜遅くまで子どもが外で遊んでいる家庭がある。地域のイメージが悪くなる。地域・行政が見回り・声掛けしてほしい。市全体の見回りを	①鳥取	30歳台	女性

強化してほしい。			
未恒に越してきて、声掛けが盛んで安心している。子どもも通園の際にいろんな人に会えると言っている。	①鳥取	30歳台	女性
役所の窓口相談へ行くのはハードルが高い。HPで情報収集したいが分かりづらい。チャットやAIで手軽にすぐに返答してもらえるシステムがほしい。	①鳥取	30歳台	女性
仕事・家事・育児で経済的にも時間的にも余裕がない。休日はボランティアに関わる時間はない。各企業・学校等に助成金や協力依頼をし、勤務時間内に福祉やボランティア活動の時間確保をしてほしい。	①鳥取	30歳台	女性
地域の繋がりが大事だが、若い人は忙しく地域活動になかなか参加できない。幅広い世代が集えるような場を学校行事と一緒に提供すれば、若い世代も地域交流できるのではと思う。	①鳥取	30歳台	女性
ひとり親への支援・医療費に不安がないようにしてほしい。	①鳥取	30歳台	女性
近隣での声掛け等に温かい気持ちになる。必要なときに支え合える人間関係や地域との繋がりは、自ら行動することが大切。誰でも参加しやすい地域のコミュニティが必要。100円バスの運転手に、もう少し思いやりのある対応をしてほしい。安心して暮らせる地域・まちづくりに繋がると思う。	①鳥取	30歳台	女性
若い人と高齢者が関われる環境が必要。若い人の力が高齢者の助けになる。サポートしてくれる若者を活かす支援・施策があれば、住み慣れた町で生活していける。孤立・孤独も減らせるのではないかな。	①鳥取	30歳台	女性
強制参加のイベントや集まりがあれば、参加しやすいと思う。1人目のときは情報がないので、乳幼児の集団検診の際に幼稚園・認定こども園の話をしてもらえたら嬉しい。	①鳥取	30歳台	女性
社会福祉・地域のために頑張っていていただき感謝している。	①鳥取	30歳台	女性
交通手段の充実。小型バスの導入。	①鳥取	30歳台	女性
子ども達が安全に遊べる場の確保。	①鳥取	30歳台	女性
防犯・防災対策の強化。	①鳥取	40歳台	男性
本当に支援が必要な人を把握し、重点的に支援する。	①鳥取	40歳台	男性
福祉員と言っても他人であり、家の中に入ってもらうのはとても受け入れ難いと思う。	①鳥取	40歳台	男性
高齢者の住宅で、ゴミ・雑草の処理ができていないところがある。ボランティア等で支援ができれば、地域のコミュニケーションがとれるのではないかなと思う。	①鳥取	40歳台	男性
対象者目線で考えるべき。	①鳥取	40歳台	男性
身内以外にも頼れる人や場所を広く知っておくことが必要だ。	①鳥取	40歳台	男性
地域での交流、あいさつ、声掛けが必要。	①鳥取	40歳台	男性
買い物や通院等の移動支援に力を入れてほしい。	①鳥取	40歳台	男性

100 円バスの広域化。災害時避難場所の確保・開設の迅速化。地域の福祉活動について、受け身であっても参加情報が入る体制が必要。	①鳥取	40 歳台	女性
鳥取市は保守的で、新しいことに挑戦する姿勢が見られない。すべての人が安心して暮らせるための条件は今も昔も変わらない。もっと市民の声を大切に考え、行動してほしい。	①鳥取	40 歳台	女性
住民一人ひとりが自立すること。地域にできることを考え、行動していくことが重要。	①鳥取	40 歳台	女性
思いやりが大事だ。	①鳥取	40 歳台	女性
誰もが「孤独ではない」と理解して暮らせること。	①鳥取	40 歳台	女性
訳があって近所付き合いは最低限にしている。自分でできることは自分でやる、人が嫌がる事はしない心を育てることが必要。お互い様の精神を持てば、自ずと地域は優しく助け合える。	①鳥取	40 歳台	女性
小中高生のいる家庭は生活が大変だ。この世代への支援も充実させてほしい。	①鳥取	40 歳台	女性
情報交換・相互理解等、行政のもとで現在解決しなければならない問題を話し合い、少しずつ改善できることから取り組むことが必要。	①鳥取	40 歳台	女性
要介護者の介護施設を年金だけでまかなえるようにしてほしい。要介護者をもつ家族が仕事のできる環境を整えてほしい。親の年金も少なく、デイサービスなどの利用もできない。	①鳥取	40 歳台	女性
地域を綺麗に。	①鳥取	40 歳台	女性
人とのコミュニケーションを大切にする。その積み重ねが、いざというときに支え合えるのではないかと思う。	①鳥取	40 歳台	女性
市の子育て支援策には大変感謝している。行政版の 110 番のような窓口があれば、さらに安心だと思う。	①鳥取	40 歳台	女性
老後は安全に暮らしたい。子どもがいない家庭もある。子ども手当より高齢者を援助してほしい。ケアマネジャーの育成。	①鳥取	40 歳台	女性
住民が平等に福祉サービスを受けられる体制の整備。若い世代が福祉に興味を持てるようなイベントの開催。住民同士が助け合える環境。	①鳥取	40 歳台	女性
寄り添い・共感・会話。	①鳥取	40 歳台	女性
小学校の登下校時の見守りボランティアがあれば安心できる。ボランティアの方にはポイント制度の仕組みをつくり、メリットがあれば協力できる人が増えるのではと思う。	①鳥取	40 歳台	女性
地域の方々と気軽にあいさつができる関係になれたらと思う。	①鳥取	40 歳台	女性
1つ1つの事業を目的意識を持って行ってほしい。必要なことに重点的に予算を分配することが必要。	①鳥取	50 歳台	男性
コロナ後における地域住民を中心とした繋がりへの復旧が必要。コロナにより、人間関係が希薄化した。	①鳥取	50 歳台	男性
政治家が弱い立場の人を率先して理解し、政策に反映する。	①鳥取	50 歳台	男性
地域活動活性の助成金の増額。	①鳥取	50 歳台	男性

日々の生活に困らないまちづくりが必要。小売店廃業が相次いでいる。大手量販店・ドラッグストアを出店規制してほしい。地場企業が淘汰され、将来的に不便になりそう。	①鳥取	50歳台	男性
負担のないかたちでの地域住民が繋がれる仕組みが必要。地域組織の役員などが報われるような手当やメリットがあった方がよい。	①鳥取	50歳台	男性
このアンケートで知らないことがたくさんあることに気づけた。あまり興味・関心がない人にも、自然に情報が入るような仕組み・取り組みが必要だと感じた。	①鳥取	50歳台	男性
助け合いの心。	①鳥取	50歳台	男性
隣近所との繋がりや信頼関係が必要。社会からの孤立を防ぎ、災害時の対応もより連携が深められると思う。	①鳥取	50歳台	男性
住民一人ひとりの意識の向上が大切。当事者になってみないと見えない福祉になっている。	①鳥取	50歳台	男性
家族を介護されている方の求人情報発信、特殊詐欺防止。	①鳥取	50歳台	男性
介護に頼らない体づくりができる施設の充実。公民館に健康器具を設置したり、ウォーキングコースの充実。夜間照明設置。	①鳥取	50歳台	男性
20万人を割り込んだ自治体が中核市であることでの財政負担は大きい。中核市をやめるべき。	①鳥取	50歳台	男性
人権よりも人格教育が必要だと思う。自治会を脱会してもゴミステーションを利用したいと言うなど、無責任な人が増えている。	①鳥取	50歳台	男性
行政から福祉人材確保のための公的支援と給与の助成。	①鳥取	50歳台	男性
福祉など、自分が当事者にならなければ実感が沸かないことが多いと感じる。窓口を分かりやすく、話しやすい環境を行政には期待している。自治会は現役世代には負担になる。	①鳥取	50歳台	女性
子育て支援ばかりで、介護・65歳以上の支援はない。子どもより大人の方が金銭的・身体的にも大変だ。国も考えてほしい。	①鳥取	50歳台	女性
行政の相談窓口を入口として、NPO法人・医療機関等へつなぐことができる場、及び人材育成。	①鳥取	50歳台	女性
行政主体のまちづくり、災害支援の構築、限界集落・農村地域への交通支援・買い物支援、山村地域に介護施設を建設し労働を促進する。	①鳥取	50歳台	女性
年齢に関係なく生きがいのある人生を送れるよう、公的支援の窓口を広げてほしい。	①鳥取	50歳台	女性
人が集まる機会をつくる。知り合いが増えることで安心感が増すと思う。	①鳥取	50歳台	女性
気軽に話せるサロン、何でも相談できるコーディネーターの育成が必要。	①鳥取	50歳台	女性
地域の役員を無理やりやらされている感が強く、やりがいを感じられない。弱者といえる方も協力する姿勢を見せてほしい。	①鳥取	50歳台	女性
今夏の災害避難時に、段ボール等の仕切りでプライベート空間づくりにとても配慮がなされていた。しかし数に限りがあり、十分な備えが必要と感じた。地区の防災の方に感謝している。	①鳥取	50歳台	女性

差別をなくし、フラットにすること。人権尊重の町づくり。	①鳥取	50 歳台	女性
病気療養が長引き、経済的に困窮している。相談窓口の情報がほしい。	①鳥取	50 歳台	女性
新しく越してきて、近隣の方との繋がり・声掛けは難しい状況だ。自分でできる範囲は自力でと思うが、行政のサービスを受けられれば安心だ。まずは自身の健康づくりの大切さが重要だと思う。	①鳥取	50 歳台	女性
皆が助け合って生きる教育が必要。特に幼い頃から指導すべきと考える。思いやりの心が全ての原点であると確信している。	①鳥取	50 歳台	女性
町内会に入っているが、会費支払い・ゴミ置き場当番ぐらいで他には参加していない。煩わしいので、できれば関わりたくない。余所者は受け入れられない風潮がある。	①鳥取	50 歳台	女性
災害時に安心して避難できる場所が必要。水害で避難命令が出ても、移動できない状態だ。避難所の準備・開設も遅いのが現状だ。	①鳥取	50 歳台	女性
高齢で1人になっても住み慣れた土地で安心して暮らせると思える地域づくりが大切だと思う。故郷に戻りたい・住みたいと思える要素が必要。	①鳥取	50 歳台	女性
一人暮らしや生活困窮家庭を訪問するなど、誰もが取り残されないような行政の支援。相談を待つよりもアプローチした方がよい。	①鳥取	50 歳台	女性
このようなアンケートによる周知は、回覧板やポスターよりも有効だと思う。	①鳥取	50 歳台	女性
情報の発信が必要。	①鳥取	50 歳台	女性
以前のようにあいさつを交わすことがなくなった。若者が歩道いっばいに広がって歩いたり、自転車の無理な走行に怯えながら歩いている。年配者に敬意や感謝の気持ちを抱き、地域の子どもたちを見守っていく時代はなくなってしまったのか。	①鳥取	50 歳台	女性
意識の向上。	①鳥取	50 歳台	女性
地域行事の参加が必要。行事の参画に 20~40 代の若い世代の参入を促す。災害時に地域の住民だけで対処できるよう避難訓練の回数・内容を充実させる。	①鳥取	50 歳台	女性
困ったときにすぐ相談できて支援を受けられるところと、その体制づくり。	①鳥取	50 歳台	女性
民生児童委員をしているが、自分から積極的に民生児童委員になろうという人がいないのが現状だ。公的機関を退職した方に自動的に民生児童委員になるようなシステムが必要だ。	①鳥取	60 歳台	男性
安心して生活ができるよう、行政が地域の意見をしっかりと聞き、真剣に取り組んでほしい。	①鳥取	60 歳台	男性
困ったときに相談できる仕組み。日常生活に不便を感じない地域づくり。	①鳥取	60 歳台	男性
少子高齢化の対策・若者の地域外流出の歯止めにより、地域の若者世代を増やす。	①鳥取	60 歳台	男性
思いやり。	①鳥取	60 歳台	男性

みんなで弱者を支え合える社会。	①鳥取	60歳台	男性
鳥取南地域包括支援センターを良く利用している。とても助かっている。	①鳥取	60歳台	男性
日本人特有の優しさ協調性を鑑みて、国全体で弱者に対して必要なものを配布する。福祉に関わる費用ももっと安価で提供する。	①鳥取	60歳台	男性
高齢化が進み、要支援者がより増加する。問44の施策について先手を打って展開していく必要がある。	①鳥取	60歳台	男性
まずは経済的不安がなく暮らせる世の中にする必要がある。	①鳥取	60歳台	男性
健康づくりや生きがいづくりの場が必要だと思う。	①鳥取	60歳台	男性
街中は隣人とのつながりは最小限。自治会もやりたい人が生きがいでやっているだけだ。現在の住民を市はもっと知るべきだ。	①鳥取	60歳台	男性
災害時のトイレ対策をしてほしい。	①鳥取	60歳台	男性
地区自治会内の社会福祉協議会への運営等、指導を徹底すべき。	①鳥取	60歳台	男性
防犯・防災対策の強化。緊急時に迅速に対応できる体制を整える。地域の特色・資源を活かした産業や観光の振興、地域住民の交流や参加を促すイベントや活動。地域内の多様な人々のニーズや意見を尊重し、差別や排除を防ぐ。地域外との連携や協力を図る。	①鳥取	60歳台	男性
支援が本当に必要な方が、行政等に簡単に連絡できる仕組み。我慢したり、閉じこもっている方もいるはず。	①鳥取	60歳台	男性
ゆっくり過ごせる公園の充実。	①鳥取	60歳台	男性
少子高齢化のため、自治会活動の稼働軽減を考えてほしい。災害時の避難所の早期開設・具体的指示。雨予報の中でのしゃんしゃん祭りの開催は、安全より経済活動を優先させている。	①鳥取	60歳台	男性
災害時の避難場所が明確にされていない。防災マップの活用等を充実させる必要がある。	①鳥取	60歳台	男性
地域での人の繋がりは希薄になっている。お節介な大人・リーダー、挨拶運動・普段から顔の見える関係づくりの構築が必要。公民館だけでなく、気軽に集える場所が必要。	①鳥取	60歳台	女性
気軽に相談できる場所。高齢者のためのスマホ教室。	①鳥取	60歳台	女性
自分たちの地域という意識をみんなが持つこと。	①鳥取	60歳台	女性
自治体がリードする必要がある。	①鳥取	60歳台	女性
町単位で相談窓口が必要。	①鳥取	60歳台	女性
皆が協力し合って生活できるようにすること。	①鳥取	60歳台	女性
皆が仲良く暮らしていくこと。	①鳥取	60歳台	女性
高齢者の一人暮らしを支える見回りなどの取り組みの充実が必要。	①鳥取	60歳台	女性
近くの他人・近所の方々との繋がりを絶やさないことからだと思う。	①鳥取	60歳台	女性
市報に困り事の相談窓口を詳しく掲載してほしい。Q&Aも幅広い内容	①鳥取	60歳台	女性

のものを載せてほしい。			
人に関心を持ち、声を掛け合うこと。	①鳥取	60歳台	女性
今回のアンケートで地域福祉について知らないことが多いことに気づかされた。住民の1人として、地域社会への関心を持ち理解を深めていくことが大切だと感じる。	①鳥取	60歳台	女性
地域・まちづくりに、まず興味を持ってもらうことが必要。	①鳥取	60歳台	女性
地域行事に気軽に参加できる仕組み。	①鳥取	60歳台	女性
福祉を受け入れる場合の役所での手続きを簡素化してほしい。福祉協議会の人員の充実。	①鳥取	60歳台	女性
ボランティアポイント制度の導入を検討してほしい。	①鳥取	60歳台	女性
地域で楽しく生活できることが一番だと思う。	①鳥取	60歳台	女性
すべての手続きがややこしくて分かりにくい。	①鳥取	60歳台	女性
自分や家族に何かあったときに、どんな行政サービスが使えるのか、どこに相談すればよいのか。事前に知識を持つことが必要。	①鳥取	60歳台	女性
町内では一部の人たちの役割が多くなっている。1人でも多くの人に参加できる仕組みづくりが必要。	①鳥取	60歳台	女性
母の代筆をしたが、知らない情報施策が多く、当事者としてとても興味深いアンケートだった。一人世帯の高齢者には分からないことだらけだと思う。	①鳥取	60歳台	女性
気軽に相談できる窓口の設置。買い物できる場所が必要。	①鳥取	60歳台	女性
高齢者施設が少ないように思う。高齢者にとって安心して生活できる場として、施設が必要となる。	①鳥取	60歳台	女性
比較的休暇が取りやすい公務員の地域活動への参加が少ないように思う。職員の実態調査をし、HPで発表してほしい。	①鳥取	70～74歳	男性
あいさつが大事。	①鳥取	70～74歳	男性
町内会加入率が下がっている。加入の進めを行政からも指導してほしい。空き家対策も必要。	①鳥取	70～74歳	男性
いつでも気軽に相談できる窓口を配置し、迅速な福祉サービスにつなげてほしい。	①鳥取	70～74歳	男性
地域のイベントにボランティア活動をされている協議会員の方を見受ける。自家用車で送迎されているが、すべてボランティアが基本なのも考え直すべかではないかと思う。	①鳥取	70～74歳	男性
福祉に精通している市職員・一般市民を含めて、福祉を悪用して受け入れている者への監視をしてほしい。	①鳥取	70～74歳	男性
情報発信は十分なされているが、相談窓口が良く分からない。気軽に相談できる場があれば、孤独感は薄れると思う。	①鳥取	70～74歳	男性
ニュータウン開発で、世代の偏りが起きている。	①鳥取	70～74歳	男性
思いやりを持つ真摯な姿勢。	①鳥取	70～74歳	男性

地域社会による共存社会。高齢者社会対策。	①鳥取	70～74歳	男性
アンケートのweb回答、町内会回覧板をメールにしたりと、老人でも使える市のネット・電子化を進めるべき。	①鳥取	70～74歳	男性
自らが積極的に社会と関り、日頃からふれあい・助け合いの気持ちを持って接すること。そのような社会づくりを行政がサポート・支援することが必要。少子高齢化が急速に進む中で、幸せを感じられる地域社会を考え、行動・実践することで実現を目指してほしい。	①鳥取	70～74歳	男性
町内会・自治会から脱退する人が少なからずいる。最小限の関心を持てるような体制が各団体に必要だと考える。	①鳥取	70～74歳	男性
人間関係が希薄になり、将来が心配だ。温もりのある教育が大事。よき先輩・先生に恵まれることが必要。	①鳥取	70～74歳	男性
地域交流がなく、何の活動もできない。地域福祉に関する情報を市報等で提供してほしい。	①鳥取	70～74歳	女性
近所の方々と関わるのが大事。	①鳥取	70～74歳	女性
困ったときに、気軽に相談でき、納得して行動すべき。	①鳥取	70～74歳	女性
老若男女関係なく、話合うことが必要。	①鳥取	70～74歳	女性
障害・認知症など、一人ひとりが大切にされる地域づくりが必要。すべての人が尊重される心の育成が基本となるので、人間教育が必要。	①鳥取	70～74歳	女性
雑草の手入れが行き届かない住宅の草刈りなど、行政で環境整備してほしい。	①鳥取	70～74歳	女性
福祉に関する情報を市報・テレビなどで定期的に発信し、一人ひとりに認知してもらうようにしてほしい。	①鳥取	70～74歳	女性
気に入らないことがあっても人を許す気持ちが大事だ。核家族化しているが、他人の子どもでも叱ったり、注意したりできる環境でありたい。	①鳥取	70～74歳	女性
以前、独居老人の世話をしていたが、遊ぶところがないと話していた。老人にもコミュニケーションの場が必要。	①鳥取	70～74歳	女性
核家族化しているが、若い人・高齢者・障がい者すべて同じ人間だ。鳥取を支える重要な一員として積極的に地域活動に参加してほしいと思う。	①鳥取	70～74歳	女性
となり組福祉委員の研修で「いのちのバトン」を知った。知れて良かった。	①鳥取	70～74歳	女性
利他的精神を育む教育。	①鳥取	70～74歳	女性
公的福祉政策が自己申請なので、知らなかったり、手続きが億劫だったりする人も多い。	①鳥取	70～74歳	女性
活動支援を市報等（大きな文字で）で知らせてほしい。	①鳥取	70～74歳	女性
情報提供の充実。	①鳥取	70～74歳	女性
プライバシーの侵害ということで、手を出して良いのか悪いのか難しい。	①鳥取	70～74歳	女性

地域交流が必要。広場が少なく、体を動かしてふれあえる場所が増えればと思う。	①鳥取	70～74歳	女性
どこでどのようなサービス・施設があるのかよく分からない。分かりやすい地図があればと思う。	①鳥取	70～74歳	女性
若者の流出を食い止めなければ、将来に希望は持てない。この土地で働ける何かを考える必要がある。	①鳥取	70～74歳	女性
BS141“イタリアの小さな村”のような慎ましくも温かいコミュニティに憧れる。	①鳥取	70～74歳	女性
地域の活動に気持ちがついていかないのが現状だ。	①鳥取	70～74歳	女性
自転車左側走行を老人会・小学校で徹底して教える。信号無視をする市民が多い。	①鳥取	70～74歳	女性
古くからの家がなくなり、新しい家が多くなり、知らない人が増えてきた。あいさつ程度はできる町であってほしい。	①鳥取	70～74歳	女性
社会の中で協調し、折り合って生きていける環境。	①鳥取	70～74歳	女性
福祉に関しては無知だが、家族が調べてくれるので相談したい。	①鳥取	70～74歳	女性
皆が自分の事として捉え、協力努力が可能などときには積極的に取り組めたらと思う。	①鳥取	70～74歳	女性
気軽に相談できる総合窓口が必要。	①鳥取	70～74歳	-
市民は公助が一番という考えを持っているのではないか。行政の縦割りも我々には面倒だ。	①鳥取	75歳以上	男性
後期高齢者だが、福祉関係の活動等分からないことが多い。情報提供してほしい。	①鳥取	75歳以上	男性
マンションの建築規制が緩く、地元住民との協力体制がはかれない。	①鳥取	75歳以上	男性
自治会・スポーツ・地域の様々な活動など、すべての事に自分が中心的人物だと思い自ら活動すること。	①鳥取	75歳以上	男性
動ける健康な身体の維持。動くことの大切さを周知すること。	①鳥取	75歳以上	男性
いざというときに助け合えとなり組の充実。住み慣れた自宅で暮らせるよう、在宅訪問看護の充実。社会福祉協議会の内容が分からない。	①鳥取	75歳以上	男性
地域活動が年々低下している。すべての活動は地域にあると思う。地域活動にもっと力を入れてほしい。	①鳥取	75歳以上	男性
安心・安全・健康については、自己責任だ。個人の生き方が問われていると考える。	①鳥取	75歳以上	男性
落ちこぼれない福祉、持続性が確保されること。介助者に相応した報酬。自助優先で実績を上げている事業者をモデルにした仕組みづくり。	①鳥取	75歳以上	男性
今の自分に何ができるか。世のため、人のために知ることが大切。	①鳥取	75歳以上	男性
特別養護老人ホームを増やしてほしい。	①鳥取	75歳以上	男性
1人では生きていけない、町内会・地域・まちづくりと繋がった組織に守られて生きている現実を学ぶことが必要だ。人と人との助け合い	①鳥取	75歳以上	男性

の重要性をもっと知るべきだと思う。			
交通手段、公的支援の充実。	①鳥取	75歳以上	男性
近所の人が誰かを知ることが必要。	①鳥取	75歳以上	男性
新しい住宅地、市営住宅の住民へ地域づくりのアドバイスが必要だと思う。	①鳥取	75歳以上	男性
市民が積極的に審議会へ応募すること。市民が「市長への手紙」をもっと活用すること。	①鳥取	75歳以上	男性
高齢になり、何事にも自信がなくなった。	①鳥取	75歳以上	男性
一人暮らしの方の見守りを充実してほしい。	①鳥取	75歳以上	男性
自分が当事者にならないと分からないと思う。	①鳥取	75歳以上	男性
若者が結婚できる環境をつくり、子どもたちの笑い声が溢れる町づくり。安心して生涯を終えることのできる施設の充実。	①鳥取	75歳以上	女性
高齢になり、自治会の役員が重荷になっている。退会すると市報も入らないので悩んでいる。	①鳥取	75歳以上	女性
近所の人とのコミュニケーションが大事。	①鳥取	75歳以上	女性
ある程度、近隣住民の情報を把握することも必要。	①鳥取	75歳以上	女性
ボランティアに進んで参加できる鳥取市の取り組みを分かりやすく説明する場所が必要。	①鳥取	75歳以上	女性
アンケート結果を市報等で公表してほしい。	①鳥取	75歳以上	女性
町内会加入数減少、町内会長選出問題など、鳥取市が広報で呼びかけてほしい。	①鳥取	75歳以上	女性
近所同士の挨拶・声掛けを大切にし、お互い助け合える関係を作っておく必要がある。	①鳥取	75歳以上	女性
町内で笑い声が聞こえるような、明るく楽しい自由な生活ができる毎日を望んでいる。	①鳥取	75歳以上	女性
一人ひとりに寄り添うこと。	①鳥取	75歳以上	女性
老いも若きも、交流はあいさつから。	①鳥取	75歳以上	女性
心配り・心配りできる人が少なくなった。1日1善をモットーにしている。	①鳥取	75歳以上	女性
空き家を利用して気軽に交流できる場が必要。	①鳥取	75歳以上	女性
今回のアンケートで知らないことが多く、勉強させられた。社協だよりなどで広く広報していただき、社会福祉協議会の役割を知らせてほしい。困り事に対する相談窓口・相談場所も知らせてほしい。社会福祉協議会について、知り合いにも教えてあげたい。	①鳥取	75歳以上	女性
免許返納後の不安、交通手段の充実。	①鳥取	75歳以上	女性
町内会・自治会の充実が必要。どんなことでも話し合える場所を提供してほしい。	①鳥取	75歳以上	女性

高齢で子ども・兄弟がいないので、どこまで相談すればよいのか信用できない。	①鳥取	75歳以上	女性
交通手段の充実。	①鳥取	75歳以上	女性
町内では週1回いきいきサロン等を行い楽しく交流している。この集まりに本当に救われている。	①鳥取	75歳以上	女性
障がいのある子どもがいる。近所づきあいもあいさつ程度で、深く付き合いたくない。将来的には福祉・役所の方々に助けてもらいたい。	①鳥取	75歳以上	女性
詐欺事件が多いため、この通知も不信だった。	①鳥取	75歳以上	女性
皆が楽しく参加できるイベントを開催してほしい。	①鳥取	75歳以上	女性
町内会に入っていないので、行政福祉協議会の情報が入ってこない。市報も入らない。	①鳥取	75歳以上	女性
要介護5の夫を抱えている。手厚い支援に感謝している。	①鳥取	75歳以上	女性
住民同士が仲良く声をかけあって毎日を過ごせたらよいのではないか。助け合いが必要だ。	①鳥取	75歳以上	女性
物価上昇対策として、手当や助成などを手厚くしてほしい。子育て支援ばかりで、子どもがいないものからすると納得できないことが多い。住民全員がありがたいと思える支援を意識してほしい。	②鳥取東	30歳台	女性
市民と行政の連携。通学路の防犯対策。	②鳥取東	30歳台	女性
土日も対応できる子育て支援センターの窓口を設けてほしい。子どもの療育施設も多く利用したいが、待たなければならないので改善してほしい。	②鳥取東	30歳台	女性
障がい者の働ける場所の確保。視聴覚障がい者にも分かりやすい表現による情報提供。療育に対して経済的負担が大きい。	②鳥取東	40歳台	男性
あるがままの自分で、お互いに認め合える市民の意識づくり。	②鳥取東	40歳台	男性
福祉の内容が分かりにくい。情報をもっと広めてほしい。	②鳥取東	40歳台	女性
一人暮らし高齢者世帯が増加して買い物・移動に不便を感じている人がいるため、不便を感じない安心して暮らせる地域にしてほしいと思う。	②鳥取東	40歳台	女性
夜間(年中無休・24時間体制)でも使用できる施設を増やしてほしい。夜は特に不安に陥る時間帯だ。手厚く支援が必要だと思う。	②鳥取東	40歳台	他
まずは自助努力。努力・協力的なしに行政・地域の支援を期待されても困る。協力することをポイント制にし、協力的でない人は支援を受けられない制度を構築すべきだ。当たり前のように権利ばかり主張する人間が多すぎる。	②鳥取東	50歳台	女性
セーフティネットの充実。家庭・学校・高齢者施設等での虐待を早期発見する仕組み。	②鳥取東	60歳台	女性
高齢者が安心して暮らせる町づくり。	②鳥取東	70~74歳	女性
一人ひとりが心と体の健康づくりを意識し、他人を思いやり信頼関係を作ることが必要。	②鳥取東	70~74歳	女性

若い人の活躍。	②鳥取東	70～74歳	女性
近所の人と挨拶をすること。	②鳥取東	75歳以上	女性
安心して暮らすためにはすべてが必要だが、今は何も考えずゆっくり過ごしたい。	②鳥取東	75歳以上	女性
身体の不自由な方にも気軽に声をかけ、自然に打ち解けられる環境づくり。	②鳥取東	75歳以上	女性
お互いが人に関心をもつこと。SNSの発展で個人主義になっている。	③鳥取南	18～29歳	男性
SNSが多くの人に使われるようになり、個人が個人のコミュニティを持ち、地域との交流の減少は解決できない。SNSをやめさせることが必要。	③鳥取南	18～29歳	男性
不安を感じず、助け合いながら生活できる配慮が必要。交通手段の充実。	③鳥取南	18～29歳	男性
交通手段の充実。各地区へ宅配ボックスを設置し、地域の交流の場を設けてはどうか。	③鳥取南	18～29歳	男性
福祉が必要だが、福祉についてわからない。理解が難しい。福祉について更に発信してほしい。	③鳥取南	18～29歳	女性
交通手段の充実。国道の雪かきをしっかりしてほしい。	③鳥取南	18～29歳	女性
仕事をしている若者は、休日まで行事に参加しなくてもよいと思う。休ませてあげてほしい。	③鳥取南	40歳台	男性
地域の活動に参加はしているが、実際は毎日忙しい中で無理してまで参加はしたくない。地域住人が減少しているからと反強制的に進めていくのも問題だと思う。SNSでの情報提供でよい。	③鳥取南	40歳台	女性
空き家対策が必要。他地域から人を呼び込む策。	③鳥取南	50歳台	男性
交通手段・医療環境の充実。	③鳥取南	50歳台	女性
地域全体で繋がりのある、何でも相談できる町になってほしい。	③鳥取南	50歳台	女性
支援や活動の情報発信を、市民の目に留まりやすくしてほしい。相談窓口もよく分からない。	③鳥取南	50歳台	女性
他人への気配りも必要。	③鳥取南	60歳台	男性
若者が定住できるよう、企業誘致を行う。豊かな自然と新しいまちづくり。	③鳥取南	60歳台	男性
高齢者の一人暮らし、空き家が増えている。若者が生活しやすい対策の必要性を感じる。	③鳥取南	60歳台	女性
行政だけに頼らず、地域住民と一緒にやることが必要。しかし、行政担当の認識不足・不適切な対応のないよう、学習すべきと考える。特に相談員の充実、寄り添った対応が必要。安心して生活が送れるように、共に考えていくべきだ。	③鳥取南	60歳台	女性
人に頼れる頼られる関係づくりが必要。	③鳥取南	60歳台	女性
地域住民を把握すること、イベント・研修等いろいろなかたちで日頃	③鳥取南	60歳台	女性

から繋がりを作っておくこと。			
近所・地域付き合いを増やすこと。	③鳥取南	70～74歳	男性
年金の充実と地域の支援。	③鳥取南	70～74歳	男性
災害で被害に遭い、行政対応者の心ない言葉で失意を受け、コミュニケーションの充実の必要性を実感した。	③鳥取南	75歳以上	男性
人口減少についての対策が必要。	③鳥取南	75歳以上	男性
行政に頼るだけでなく、自分自身で考え行動することが大切である。	③鳥取南	75歳以上	男性
人々の協力が必要。	④鳥取西	18～29歳	女性
困ったときの相談窓口の案内を作成し、配布してほしい。社会福祉協議会の内容が分からないので利用できない。	④鳥取西	18～29歳	女性
行政のサポートだけでなく、地域住民同士の繋がりを強めておくことが大切だと思う。個々の性格に応じた支援体制を行う必要がある。	④鳥取西	18～29歳	女性
ネット時代に紙媒体でのアンケートには費用がかかるのではないかな。アンケート結果は、分かりやすく開示してほしい。	④鳥取西	30歳台	男性
行政にすべて任せるという考えではなく、困ったときにまず自分で動くという意識が大事。	④鳥取西	30歳台	男性
地域に眠っている若者を巻き込む仕組みづくり。	④鳥取西	30歳台	女性
互助の部分は難しい。近隣住民との声掛けはあるが、関係は希薄になってきている。関わりたくない人も多い。その部分を行政で補ってくれればと思う。地域ごとに担当を配置して、地域住民ではなく担当者が取りまとめた方が話しやすいと考える。	④鳥取西	30歳台	女性
保育士の待遇、職場環境の改善による保育増加につながる取組をお願いしたい。親も休む時間が必要なので、保育士の数が増えて余裕が生じれば少しは預けやすくなるのではないかな。	④鳥取西	30歳台	女性
サービス・情報を得る手段が必要。本当に必要な人に届いていない。	④鳥取西	40歳台	男性
地域での交流。	④鳥取西	40歳台	女性
コロナで中止していた行事等の再開。	④鳥取西	50歳台	女性
宗教に加入している。福祉や災害は体的ではなく霊的な面で活動している。	④鳥取西	60歳台	男性
温泉源が活用されていないのが残念だ。健康と人間関係をつくるのは、日々のコミュニケーションだ。	④鳥取西	60歳台	女性
普段からあいさつを交わす関係を築くことが大切。	④鳥取西	60歳台	女性
福祉について知らないことが多いことに気づかされた。気軽に交流できる場所が必要。	④鳥取西	70～74歳	女性
若者の定住対策が第一だと思う。働き先の確保・若者同士の交流の場が必要。若い独身者は地域から孤立している。	④鳥取西	75歳以上	男性
社協の職員の方の誠意を感じない。	④鳥取西	75歳以上	男性

タクシーがなく不便だ。	④鳥取西	75歳以上	女性
乳幼児の笑い声・泣き声のする町づくり。高齢者が毎日外出し体を動かす日々が送れる町づくり。	④鳥取西	75歳以上	女性
高齢になり近隣との交流も少なくなり、災害時のことを考えると不安に思う。医療福祉の充実を望む。	④鳥取西	75歳以上	女性
一人ひとりが他者に対して優しい笑顔であいさつを交わすことが最も基本だと思う。	④鳥取西	75歳以上	女性
地域のことがよくわからない。	-	40歳台	男性
幅広い年齢の方が、日頃から交流できる場所やイベント。	-	40歳台	女性
高齢になり、免許返納後の交通手段に不安がある。アパート・マンション住民とのコミュニケーションが必要。	-	60歳台	女性
不審者を寄せ付けない取り組みが必要。	-	70～74歳	男性
どのような活動をしているのか具体的にわからない。	-	70～74歳	男性
災害時は、避難場所も放送してほしい。どこへ行けばよいのか分からない。	-	75歳以上	女性

「鳥取市地域福祉計画」策定のための
地域福祉に関する意識調査
(その他意見・自由記述)
報告書

令和6年1月

企画・編集 鳥取市 福祉部 地域福祉課